

麻疹（はしか）とは、麻疹ウイルスによって起きる感染症です。

麻疹の感染状況は

国立感染症研究所のデータによると、麻疹の患者報告数は、去年は 45 人でしたが本年は 3 月ですでに 22 人で、その後も陽性確認が相次ぎ、海外で感染して国内に持ち込まれたと考えられるケースが増加しています。

麻疹の症状は

麻疹ウイルスに感染すると 10～12 日の潜伏期間を経て、咳や鼻水などの上気道炎や、目脂を伴う結膜炎症状を発症します。38℃以上の発熱や強いだるさもみられ、症状が 2～4 日続いた後に、麻疹の特徴である発疹が、顔から始まり体幹部から四肢にかけて 2、3 日で一気に広がります。発疹とともに咳や鼻水、目脂などの症状が悪化し、発熱は時に 40℃に達して発疹が全身に広がる時期の 3、4 日間続き、その後に症状は改善します。経過中に肺炎、中耳炎、脳炎、心筋炎を合併しやすく、死亡割合は、先進国でも 1000 人に 1 人とされています。



感染の仕方は

麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ 100% 発症します。発症者と同じ部屋にいただけで感染する可能性があるため、発症者が利用した施設・交通機関が公表されます。今後、大阪・関西万博の開催による、流行している海外からの来訪者の増加によって、国内でも流行する可能性があります。

流行地域：東南アジア、欧州、アメリカ南西部

予防のためには

麻疹ウイルスに対する治療薬は現在もなく、ワクチンによる予防が最も重要です。1 回の接種で 95% 以上、2 回の接種で 99% 以上の免疫力が得られます。現在は定期接種となっていますが、過去に公費で接種を受けられなかった 1962 年 4 月 2 日～79 年 4 月 1 日生まれの男性や気になる方は近医に相談してください。